



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,938	△8.0	4	△81.3	11	△62.3	△4	—
29年3月期第1四半期	2,108	△6.1	25	—	29	—	23	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 0百万円(-%) 29年3月期第1四半期 △0百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△0.44	—
29年3月期第1四半期	2.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,106	6,433	70.2
29年3月期	9,261	6,479	69.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,390百万円 29年3月期 6,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	1.6	220	△0.4	250	△1.9	200	△11.0	21.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	9,382,943株	29年3月期	9,382,943株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	235,790株	29年3月期	235,063株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	9,147,698株	29年3月期1Q	9,150,238株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用環境の改善等により緩やかな回復基調が継続したものの、米国の金融・為替・通商政策の不透明感や欧州連合(EU)諸国の今後の動向、中国経済をはじめとしたアジア新興国の成長鈍化懸念など、多くの不安要素を抱えており、その先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、少子高齢化が進み量的な拡大が見込めない上に、輸入原材料等に多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されており、更にフードディフェンスを含めた品質や安全に対する要求に応えるためのコストが増大しております。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、19億3千8百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。前連結会計年度に引き続き、製品価値を訴求した販売活動を重点的に行いました。また、効率的な販売活動を行えるよう事業間の縦割り組織を廃止統合し営業の連携・お客様対応力を強化したほか、コンビニエンスストア向けの専門的な対応部署を設置し、よりニーズに合った商品展開が可能な営業体制としました。

食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、市場規模の拡大を図るため、当社グループの食品研究所におきまして凍豆腐の健康機能について継続して研究を進め、製品価値の訴求に努めました。具体的には本年5月に業界団体などを通じ、凍豆腐の最新健康機能性の研究の成果として、凍豆腐が持つ脂質代謝改善作用について発表を行いました。しかしながら市場全体の規模は微減傾向であり、また、製品価値への認知度がまだまだ低い上、激的な価格競争や好調だった前年の反動減などによる影響もあり、売上高は8億8千9百万円（同10.0%減）となりました。加工食品においては、引き続き単品収益管理の徹底を図り、不採算アイテムの改廃を進め、一部価格体系の変更を行うなど、収益力の改善に努めてまいりました。また、消費者の皆さまに美味しく安心してお召し上がりいただけるよう当社グループ独自の特許製法によるアルコール無添加、化学調味料無添加の即席みそ汁シリーズや減塩タイプの即席みそ汁など健康指向の商品をラインアップし価値訴求に努めてまいりました。しかし、低価格競争が一層激しくなっている上、商品多様化の影響もあり、売上高は5億5千万円（同16.2%減）となりました。その他の食料品では、売上高は4億9千1百万円（同7.9%増）となりました。この中で医療用食材については前連結会計年度に実施したダイレクトメールを用いた新規開拓やユーザーへの直接訪問などの効果が徐々に表れてきており継続的に成長しております。

利益面では、売上原価の上昇を抑えるため、工場の集約など生産体制の改善や、歩留まりを向上させる製造方法の見直しなど収益力の向上に努めてまいりましたが、売上減少の影響が大きく、営業利益は4百万円（同81.3%減）、経常利益は1千1百万円（同62.3%減）にとどまりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、設備更新に伴う固定資産除却損や出資金評価損の計上などもあり4百万円の損失（前年同期は2千3百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ1億5千4百万円減少し、91億6百万円(前期末比1.7%減)となりました。これは、たな卸資産の増加3千9百万円や、有形固定資産の増加1千万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少2億2百万円、無形固定資産の減少2千6百万円があったことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ1億8百万円減少し、26億7千2百万円(同3.9%減)となりました。これは、設備関係支払手形の増加が4千万円あったものの、支払手形及び買掛金の減少3千3百万円、賞与引当金の減少6千1百万円、長期借入金の減少5千2百万円、退職給付に係る負債の減少3千1百万円などがあったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ4千5百万円減少し、64億3千3百万円(同0.7%減)となりました。これは配当などによる利益剰余金の減少4千9百万円、為替換算調整勘定で1千4百万円の減少などがあったことが主な要因であります。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.7ポイント増加し、70.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,445,526	2,456,068
受取手形及び売掛金	1,527,292	1,324,448
たな卸資産	867,162	907,112
繰延税金資産	89,706	88,715
その他	61,026	70,511
貸倒引当金	△5,588	△5,613
流動資産合計	4,985,124	4,841,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,577,288	5,571,214
減価償却累計額	△4,499,066	△4,511,824
建物及び構築物(純額)	1,078,222	1,059,390
機械装置及び運搬具	5,931,336	5,959,019
減価償却累計額	△5,160,702	△5,186,097
機械装置及び運搬具(純額)	770,634	772,921
土地	1,697,178	1,697,178
リース資産	185,733	185,733
減価償却累計額	△70,285	△78,008
リース資産(純額)	115,447	107,725
建設仮勘定	29,162	59,855
その他	431,300	435,111
減価償却累計額	△379,758	△379,620
その他(純額)	51,541	55,490
有形固定資産合計	3,742,187	3,752,561
無形固定資産		
投資その他の資産	292,139	265,766
投資有価証券	175,318	185,934
繰延税金資産	1,576	1,576
その他	69,840	64,353
貸倒引当金	△4,691	△4,691
投資その他の資産合計	242,043	247,172
固定資産合計	4,276,370	4,265,500
資産合計	9,261,495	9,106,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	589,302	555,736
短期借入金	325,008	331,508
リース債務	38,912	38,304
未払金	332,738	341,130
未払法人税等	33,166	9,274
賞与引当金	90,802	29,613
設備関係支払手形	30,991	71,081
その他	156,504	197,298
流動負債合計	1,597,426	1,573,948
固定負債		
長期借入金	622,866	570,739
リース債務	106,468	97,193
繰延税金負債	64,770	72,012
退職給付に係る負債	331,670	300,354
資産除去債務	48,344	48,405
その他	10,100	10,100
固定負債合計	1,184,220	1,098,804
負債合計	2,781,647	2,672,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,524,155	3,474,373
自己株式	△130,578	△130,873
株主資本合計	6,643,845	6,593,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,408	29,764
繰延ヘッジ損益	△92	-
為替換算調整勘定	78,924	64,307
退職給付に係る調整累計額	△310,796	△297,393
その他の包括利益累計額合計	△209,556	△203,321
非支配株主持分	45,559	43,543
純資産合計	6,479,847	6,433,990
負債純資産合計	9,261,495	9,106,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,108,179	1,938,747
売上原価	1,504,058	1,369,241
売上総利益	604,120	569,505
販売費及び一般管理費	578,134	564,648
営業利益	25,985	4,857
営業外収益		
受取利息	586	725
受取配当金	813	823
受取技術料	286	3,233
雑収入	3,687	3,189
営業外収益合計	5,373	7,971
営業外費用		
支払利息	1,676	1,589
雑損失	90	93
営業外費用合計	1,766	1,682
経常利益	29,592	11,146
特別利益		
固定資産売却益	-	986
特別利益合計	-	986
特別損失		
固定資産売却損	17	-
固定資産除却損	1,747	2,488
出資金評価損	-	3,488
特別損失合計	1,765	5,976
税金等調整前四半期純利益	27,827	6,156
法人税、住民税及び事業税	3,279	4,797
法人税等調整額	148	5,793
法人税等合計	3,427	10,590
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,399	△4,433
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	786	△392
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	23,613	△4,041

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,399	△4,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,714	7,356
繰延ヘッジ損益	△1,559	92
為替換算調整勘定	△31,184	△16,240
退職給付に係る調整額	10,447	13,403
その他の包括利益合計	△25,012	4,611
四半期包括利益	△612	177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,719	2,193
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,331	△2,016

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	2,101,239	2,101,239	6,940	2,108,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	240	240	—	240
計	2,101,479	2,101,479	6,940	2,108,419
セグメント利益	382,895	382,895	5,084	387,979

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	382,895
「その他」の区分の利益	5,084
全社費用(注)	△361,993
四半期連結損益計算書の営業利益	25,985

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	1,931,957	1,931,957	6,789	1,938,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,752	1,752	—	1,752
計	1,933,709	1,933,709	6,789	1,940,499
セグメント利益	353,720	353,720	3,694	357,414

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	353,720
「その他」の区分の利益	3,694
全社費用(注)	△352,556
四半期連結損益計算書の営業利益	4,857

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。